

# 21世紀社会デザイン研究学会ニュース

Japanese Academy of Social Design Studies for 21st Century

vol.4

21世紀社会デザイン研究学会ニュース第4号  
2008年10月29日発行  
■発行人 北山晴一 ■編集人 笠原清志  
■発行所 21世紀社会デザイン研究学会

■連絡先 〒171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1  
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科委員長室 気付 21世紀社会デザイン研究学会事務局  
E-mail: info@socialdesign-academy.org URL: http://www.socialdesign-academy.org/  
■デザイン 増田幸右 ■印刷 (株)文栄社



## 第3回年次大会開催によせて

21世紀社会デザイン研究学会  
理事 小野 豊和  
(大会実行委員・東海大学教授)

21世紀の社会デザインをめざし、さまざまな知を統合すべく当学会が設立され3年目を迎えました。当学会は、コミュニティデザイン分野、CSR（企業の社会的責任）分野、国際協力・平和機構・共生学分野、非営利活動分野、危機管理分野、都市防災分野、そして文化・芸術組織分野の7分野から構成されています。

今日の社会の課題は、教育、家庭、少子高齢化、地域社会、食糧自給と農業、環境問題など複雑かつ多様化していますが、本年は、常に組織のプレイヤー役を担ってきた団塊の世代が一斉に定年を迎えています。そして団塊の世代が培ってきた知財・経験の活用が社会システム変革の原動力になり得るか個人の役割が期待されています。反面、社会に適應できないかつての“企業戦士”に対する再チャレンジシステムの構築など、これまで経験したことのない21世紀社会のデザインが要請されています。組織なのか？個人なのか？その牽引役がまだまだ定まらない状態ではありますが、時の流れを止めることはできません。

来たる12月6日（土）と7日（日）に第3回年次大会が開催されます。統一論題は「社会デザインと個人の役割～浮遊する個の現状を考える」です。本学会の7つ研究領域を構成する個人の役割にスポットを当ててみました。個性ある個人の活躍が社会を変革する時代です。個の集団が社会であり、国家であり世界であれば、多くの課題解決も組織で活躍する個人にかかってきます。浮遊している場合ではありません。ネットワークの構築などを通じて「個をつなぎ、個を結ぶ」ことがまさに21世紀社会の重要なキーワードになるのではないのでしょうか。セカンドステージの出番、ジョイントセッションなど学会として横の連携も考えています。多くの会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

# 第3回年次大会開催のお知らせ

統一テーマ: 「社会デザインと個人の役割 ～浮遊する個の現状を考える～」

開催日: 2008年12月6日(土)、7日(日)

会 場: 立教大学池袋キャンパス

## 12月6日 (土)

	内 容
12:30～	受付開始
13:15～	開会挨拶 詩の朗読: ウチダゴウ氏 (詩人) 会長挨拶: 北山晴一 (立教大学教授)
13:45～14:25	基調講演: 藤田和芳氏 (大地を守る会会長)
14:25～17:00	パネルディスカッション コーディネーター: 中村陽一氏 (立教大学教授) パネリスト: 五十嵐暁郎氏 (立教大学教授) 石川治江氏 (ケア・センターやわらぎ代表理事) 岩本真実氏 (若者自立塾よこはまアプレンティシップセンター統括責任者) 東一邦氏 (さいたまNPOセンター副代表理事・さいたま市民活動サポートセンター) マエキタミヤコ氏 (サステナ代表)
17:00～17:30	総会
18:00～	懇親会

## 12月7日 (日)

	内 容
10:00～12:30	(①、②は同時開催) ①自由論題発表 発表分野: 危機管理分野/政策分野/SR分野/つながり分野/社会・文化分野 発表者: 上記の分野より24名が発表予定 ②特別セッション 司 会: 佐野淳也氏 (立教大学准教授) テーマ「セカンドステージ世代がつむぐ時代の絆～個人の夢から社会の夢へ～」 ミニ講演: 森良氏 (ECOMエコ・コミュニケーションセンター代表理事) テーマ「シニアの地域デビューと“まちの縁側”」 シニア・団塊世代からの現場報告の後、全体ディスカッション
13:30～15:00	ジョイントセッション (無料) (国際ジェンダー学会、市川房枝記念会) テーマ「女性が政治を変えるとき」 司 会: 佐藤浩子氏 (中野区区議会議員) 報 告: 五十嵐暁郎氏 (立教大学教授) 山口みつ子氏 (市川房枝記念会常務理事) コメンテーター: 国広陽子氏 (国際ジェンダー学会会長・武蔵大学教授)

大会参加費: 一般会員 (2,000円) 学生・セカンドステージ受講生 (2,000円) 会員外 (3,000円)

懇親会費: 3,000円

大会参加申込書は、学会HPからダウンロードできます。申込書に必要事項を記入の上、第3回大会実行委員会まで、メールかファックスで、お申込み下さい。

メールでの受付先: [conference@socialdesign-academy.org](mailto:conference@socialdesign-academy.org)

ファックスの受付先: 03-3985-2181

学会のHP: <http://www.socialdesign-academy.org/>

会員の皆様の周りで、上記のテーマに興味・関心がある方に情報提供していただき、たくさんの方に参加いただけるよう、ご協力いただければ幸いです。また大会実行委員会では、大会のボランティアスタッフも募集しております。お手伝いいただける方は下記までご連絡下さい。

第3回年次大会実行委員会 ファックス: 03-3985-2181

メー ル: [info@socialdesign-academy.org](mailto:info@socialdesign-academy.org)

## 研究会の紹介

21世紀社会デザイン研究学会では、研究会活動を支援しています。現在活動しているのは以下の4研究会です。会員の皆様の研究の場として、ネットワークの形成の場として、研究会活動へも奮ってご参加下さい。関心のある方は、直接、それぞれの代表者と連絡をとって下さい。

また、研究会を新しく立ち上げたいという方は、下記webサイトをご覧ください。

[http://www.socialdesign-academy.org/study/study\\_application.htm](http://www.socialdesign-academy.org/study/study_application.htm)

### ◆コース・リレイテッド・マーケティング研究会

代表者：野村尚克

「コース・リレイテッド・マーケティング研究会」はCSRとマーケティングの融合をテーマとした研究を行っています。

「コース・リレイテッド・マーケティング（Cause-Related Marketing：CRMと略す）」とは、「企業が収益の一部を社会的課題の解決に役立てられることを前もって顧客に明示し、同時に非営利組織の活動目的に貢献するマーケティング活動」のことで、CSRへの社会的なニーズの高まりとともに日本でも多くの企業が取り組み始めた活動です。

私たちはCSRとは企業活動に幅広く取り入れるべきものだと考えています。それはマイケル・ポーターやフィリップ・コトラーが提唱するように、企業の経営戦略やマーケティング活動にも取り入れるべきものであり、そのことがより大きな競争優位を構築することに繋がると考えるからです。

本研究会ではこのCRMを、先ずはCSR領域の一つの分野として設定し、主にCRMが企業の社会的責任活動として消費者に与える影響、また企業ブランドなどのマーケティング活動に与える影響などについての研究を行っています。

メンバーは企業のマーケティング担当者、広告代理店に勤める者、社会福祉法人に勤める者、NGOに勤める者などが参加し、月に一度程度集まっています。

CRMは比較的新しい分野のため、アメリカをはじめ日本でもあまり先行事例がない研究です。しかし、私たちはその数少ない先行研究のサーベイをはじめ、日本における調査を行い、CRMの可能性について明らかにしていきたいと考えています。

### ◆コミュニティ政策研究会

代表者：佐藤浩子

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科で学ぶ、自治体議員が少しずつ増えてきました。地域に軸足を置き、地域政策を提案していく自治体議員にとって、コミュニティデザインは、これから必要不可欠な考え方です。そこで、21世紀社会デザイン研究科の修了生や在校生の自治体議員や議員志望者が中心となって、「コミュニティ政策研究会」を5月1日に発足させました。

これからの自治体政策において欠かさない、NPO、NGO、市民活動、民間企業など多様な民間や市民セクターと行政セクターとの協働など、コミュニティ政策のあり方と手法について研究することが目的です。発起人の一人で顧問の中村陽一教授の名前をとって、別名「中村政経塾」ともいいます。2ヶ月に一度研究会を持ち、毎回2名の報告者の発表をもとに、議論を行っています。「コミュニティデザイン」の観点から、議論・研究した成果を、地域政策の実践に生かしていきたいと思えます。

21世紀社会デザイン研究学会の研究会としても認められ、メンバーは学会発表に向けても奮起しているところです。現役の自治体議員が現在8人、元首長、議員志望者のほか、立教セカンドステージ大学に通う団塊世代市民や、議員インターンの学生など、約20名くらいに参加者の幅が広がってきているところです。これからの地域政策について勉強したいという方はぜひいらしてください。

### ◆ミュージアム・デザイン研究会

代表者：山村真紀

これまでミュージアム体験といえば、来館した時を中心としたものでした。しかしインターネットが普及するに従い、ミュージアム体験は来館前の情報収集から、帰宅後のインターネット上における利用者同士のコミュニケーション（例えばブログやSNSなど）までと広がりを見せています。

2007年より文化庁によるミュージアム・タウン構想の推進（芸術拠点形成事業）がスタートし、美術館・博物館が地域に開かれ、常に人々が集い、人々に親しまれる、魅力あふれる場として期待が高まっています。

また、インターネットによるミュージアムの情報提供にも音声や動画など新しい技術が加わることで、これまでになくミュージアム情報デザインの必要性が出てきています。インターネットを介した利用者同士のミュージアム体験の共有も盛んに行われ、例えば大手SNSであるMIXIでは「美術館・博物館・展示情報」コミュニティ参加者は10万人突破し、ミュージアム体験の共有が広まりを見せています。

本研究会では、ミュージアム・エクスペリエンスの範囲を地域社会との連携やインターネット上にも広げ、21世紀におけるミュージアムのユーザー・エクスペリエンスをデザインすることを目的とし、特にインターネットによる新たな情報サービスの可能性に着目し、ミュージアムの情報デザインと、ミュージアムのユーザー・エクスペリエンス・デザインの具体的な提案を行うことを目的としています。

### ◆危機管理研究会

代表者：佐取朗

日々報道される「事件」や「事故」、これらは、私たちの生活にとって決して他人事ではありません。危機管理研究会では、21世紀社会が抱える様々な危機を社会システムの視点から検証・分析し、その解決策を検討・提案することにより「安心」で「安全」な社会をデザインしていくことを目指して研究活動に取り組んでいます。特に身近に起きる「事件」「事故」「災害」等について個人、企業、社会といった様々な立場からの危機管理のあり方を分析・検証し、現代の社会システムの不備や盲点を明らかにするとともに、その防止策として「セキュリティシステム面」「防犯知識・教育面」「制度面」「コミュニティデザイン面」等の多面的な視点からの提言を研究しています。参加メンバーの専門分野は、セキュリティシステム、情報セキュリティ、地域防犯、コミュニティデザイン等多岐にわたっています。現在は、月一回の定例研究会を中心に活動を展開しており、私たちの身近な危機管理に関する様々な情報発信にも取り組んでいく予定です。

21世紀社会に生きる私たちにとって「危機管理」は極めて身近なテーマとなりつつあります。ぜひ、一度「危機管理研究会」に参加していただければと思います。

毎月第三水曜日の夕方6時30分から立教大学池袋キャンパスの4351教室で活動しています。



## 理事会報告

### 2007年度第4回常任理事・理事会

日時：2007年10月31日18：30～20：00

場所：立教大学池袋キャンパス11号館4階会議室

出席：[会長] 北山晴一  
 [事務局長] 笠原清志  
 [常任理事] 石川治江、上園俊樹、川村仁弘、中村陽一  
 [理事] 伊藤道雄、小野豊和、菊野一雄、小林規男、齊藤哲男、佐取朗、澤野次郎、福田秀人、吉村英子  
 [監事] 伊藤勝教  
 [幹事長] 比留間和憲  
 [事務局] 中村圭美

#### [審議事項]

1. 第2回年次大会について
2. 会則変更について（第4章 研究部会追加）

#### [報告事項]

1. 会員の入会状況の報告
2. 収支報告

### 2007年度第5回常任理事・理事会

日時：2007年12月1日12：00～13：00

場所：立教大学池袋キャンパス太刀川記念館1階 第1会議室

出席：[会長] 北山晴一  
 [事務局長] 笠原清志  
 [常任理事] 石川治江、上園俊樹、川村仁弘、スコット・デイヴィス、萩原なつ子  
 [理事] 伊藤道雄、小野豊和、菊野一雄、小林規男、佐取朗、澤野次郎、福田秀人、吉村英子  
 [監事] 伊藤勝教、田川義博  
 [事務局] 中村圭美

#### [審議事項]

1. 新理事就任。芝原修次氏退任につき、後任に宮崎正浩氏（跡見学園女子大学教授）。
2. 新規入会者の審査
3. 研究会支援について

#### [報告事項]

1. 収支報告
2. 総会での報告事項について

### 2007年度第6回常任理事・理事会

日時：2008年1月25日18：30～19：30

場所：立教大学池袋キャンパス11号館4階A406教室

出席：[会長] 北山晴一  
 [事務局長] 笠原清志  
 [常任理事] 出口正之、中村陽一  
 [理事] 秋山昌廣、小野豊和、菊野一雄、佐取朗、福田秀人、宮崎正浩、吉村英子  
 [幹事] 平田賢典  
 [事務局] 中村圭美

#### [審議事項]

1. 公開講演会について（ヘルムート・アンハイアー氏・青木保氏）
2. 2008年度のスケジュールについて
3. 新規入会者の審査

#### [報告事項]

1. 年次大会が無事終了したことの報告
2. 収支報告

### 2007年度第7回常任理事・理事会

日時：2008年3月21日18：30～20：00

場所：立教大学池袋キャンパス11号館4階会議室

出席：[会長] 北山晴一  
 [事務局長] 笠原清志  
 [常任理事] 石川治江、川村仁弘、中村陽一、萩原なつ子  
 [理事] 伊藤道雄、小野豊和、菊野一雄、小林規男、齊藤哲男、福田秀人、佐野淳也  
 [監事] 伊藤勝教、田川義博  
 [幹事長] 比留間和憲 [事務局] 中村圭美

#### [審議事項]

1. 新理事（佐野淳也氏）就任について
2. 総会（5月10日）について

#### [報告事項]

1. 新たな幹事会体制について。幹事長の交代、比留間和憲氏の後任に平田賢典氏。
2. 収支報告

### 2008年度第1回常任理事・理事会

日時：2008年5月10日12：00～13：00

場所：立教大学池袋キャンパス11号館4階会議室

出席：[会長] 北山晴一 [事務局長] 笠原清志  
 [常任理事] 上園俊樹、笠原清志、加藤薫、後藤和子、デイヴィス・スコット、中村陽一  
 [理事] 秋山昌廣、伊藤道雄、小林規男、齊藤哲男、佐取朗、佐野淳也、澤野次郎、宮崎正浩、播磨靖夫、宮脇磊介  
 [監事] 伊藤勝教、田川義博 [事務局] 中村圭美

#### [審議事項]

1. 第3回年次大会について（大会実行委員長：笠原清志 大会実行委員：小野豊和、齊藤哲男、佐野淳也、澤野次郎、中村陽一、萩原なつ子）
2. 自由論題公募の変更点について（予稿集の形式の変更）
3. 2008年度の事業計画について
4. 2008年度の予算について
5. 研究会の審査

#### [報告事項]

1. 収支報告
2. 会員の入会状況について

### 2008年度第2回常任理事・理事会

日時：2008年7月18日19：00～20：30

場所：立教大学池袋キャンパス11号館4階会議室

出席：[会長] 北山晴一  
 [事務局長] 笠原清志  
 [常任理事] 上園俊樹、川村仁弘、中村陽一  
 [理事] 小野豊和、菊野一雄、小林規男、齊藤哲男、佐取朗、佐野淳也、澤野次郎、福田秀人、吉村英子  
 [監事] 伊藤勝教、田川義博  
 [幹事長] 平田賢典  
 [事務局] 中村圭美

#### [審議事項]

1. 第3回年次大会について（テーマ、プログラム、出演者）
2. 新規入会者の審査
3. 研究会の審査

#### [報告事項]

1. 収支報告
2. 会員の入会状況について

### 2008年度第3回常任理事・理事会

日時：2008年9月19日18：30～20：00

場所：立教大学池袋キャンパス11号館4階A405教室

出席：[会長] 北山晴一  
 [事務局長] 笠原清志  
 [常任理事] 上園俊樹  
 [理事] 小野豊和、加藤薫、川村仁弘、菊野一雄、齊藤哲男、佐取朗、佐野淳也、澤野次郎、吉村英子  
 [監事] 伊藤勝教  
 [幹事長] 平田賢典  
 [事務局] 中村圭美

#### [審議事項]

1. 第3回年次大会について（プログラム、出演者、大会実行部隊）
2. 研究会支援について（予算、暫定ルール）
3. 新規入会者の審査

#### [報告事項]

1. 収支報告
2. 会員の入会状況について

## 総会開催の報告

### 2007年度第2回総会

日時：2007年12月1日17：00～18：00

場所：立教大学池袋キャンパス7号館7101教室

#### [報告事項]

1. 会長報告
2. 会員の状況について
3. 2007年度事業報告について
4. 2007年度12月1日までの収支報告
5. 会則の変更について

### 2008年度第1回総会

日時：2008年5月10日13：00～14：00

場所：立教大学池袋キャンパス7号館7101教室

#### [報告事項]

1. 会長報告
2. 会員の状況について
3. 2007年度決算について
4. 2008年度予算について
5. 役員構成について
6. 2007年度活動報告
7. 2008年度事業計画について
8. 2008年度年次大会開催について